



# 富山大学学報

昭和 36.12.15. 第 22 号

## 目 次

関係法令	1
学内規程	1
共済組合関係通知	13
人事異動	13
総合情報	14
給与関係実施状況監査	14
学生部長と附属図書館長の更迭	14
池田、深井両助教授の学位取得	14
文理学部校舎の新営ならびに自然科学 教室増築工事	14
昭和36年度秋季定時制認定講習	15
レクリエーション便り	15
学部情報	16
教育学部 全国音楽教育大会	16
経済学部 国際経済学会	16
日 誌	17
職員住所異動	18
特別寄稿	
ウィーン的印象 養田 実	18

## 関 係 法 令

- 政 令**
- 第 291 号 学校教育法施行令の一部を改正する政令 36. 8.17官報
  - 第 300 号 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の一部を改正する法律の施行期日を定める政令 36. 9. 1 ♪
  - 第 301 号 核燃料物質、核原料物質、原子炉及び放射線の定義に関する政令及び核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令の一部を改正する政令 36. 9. 1 ♪

- 府 令**
- 第 41 号 国家公務員に対する寒冷地手当、石炭手当及び薪炭手当支給規程の一部を改正する総理府令 36. 8.15官報
  - 第 49 号 核燃料物質の使用等に関する規則の一部を改正する総理府令 36. 9.23 ♪

- 省 令**
- 大蔵第 48 号 納入告知書、納税告知書、納付書等の様式の特例に関する省令 36. 8. 1官報
  - ♪ 第 55 号 出納官吏事務規程の一部を改正する省令 36. 8.26 ♪
  - 文部第 22 号 学校教育法施行規則の一部を改正する省令 36. 8.30 ♪
  - ♪ 第 24 号 学校保健法施行規則の一部を改正する省令 36. 9. 7 ♪
  - ♪ 第 25 号 学校給食法施行規則の一部を改正する省令 36. 9. 7 ♪
  - 大蔵第 60 号 国家公務員宿舎法施行規則の一部を改正する省令 36. 9.29 ♪

- 告 示**
- 文部第 79 号 文部省共済組合運営規則の一部を改正する件 36. 8.19官報

- 官庁報告**
- 文 部 省 昭和36年度国立大学入学試験合格者（富山大学） 36. 8. 9官報
  - 厚 生 省 第21回薬剤師国家試験の施行 36. 9 22 ♪

**通 達**

○学校教育法の一部を改正する法律および同法の施行に伴う関係法律の整理に関する法律等の施行について  
(36. 9.12文大技第481号)

## 学 内 規 程

### 富山大学入学試験管理委員会規程

富山大学入学試験管理委員会規程を評議会の議を経て次

のように制定する。

昭和36年9月8日

富山大学長 梅原真隆

(名称)

第1条 本委員会(以下「本会」という。)は富山大学入学試験管理委員会という。

(目的)

第2条 本会は入学試験を管理する。

(構成)

第3条 本会は次の各号に掲げる委員をもつて構成する。

- 一 学 長
- 二 各学部長
- 三 各学部から選出された教授 各2名
- 四 学生部長

(任命)

第4条 前条第3号の委員は学部長の推薦に基づき学長が命ずる。

(任期)

第5条 委員の任期は当該年度の入学試験実施に必要な期間とする。

(専門委員)

第6条 本会に入学試験を実施するため次の専門委員をおく。

- 一
  - 二
  - 三
  - 四
  - 五
- } 略

2 専門委員の任命、任期は第4条ならびに第5条を準用する。

(専門員委員会)

第7条 本会に専門委員会をおく。

- 2 専門委員会は試験問題に関する事項を審議する。
- 3 専門委員会は第6条第1号の委員ならびに学生部長をもつて構成する。

(議事)

第8条 本会は学長がこれを招集しその議長となる。学長が事故あるときは学長の指名する委員がこれに代わる。

2 専門委員会は学生部長がこれを招集しその議長となる。

第9条 本会は委員の3分の2以上が出席しなければ議事を開くことができない。

- 2 議事は出席者の過半数をもつて決する。可否同数のときは議長がこれを決する。
- 3 前項の規定は専門委員会の議事に準用する。

第10条 本会に幹事2名をおく。幹事は学生課長および厚生課長をもつてあてる。

附 則

この規定は昭和36年10月1日から実施する。

### 富山大学一般教育審議会規程

富山大学一般教育審議会規程を評議会の議を経て次のように制定する。

昭和36年9月8日

富山大学長 梅原真隆

(名称)

第1条 本審議会(以下「本会」という。)は富山大学一般教育審議会という。

(目的)

第2条 本会は学長の諮問に応じ一般教育の改善に関する事項を審議する。

(構成)

第3条 本会は次の各号に掲げる委員をもつて構成する。

- 一 学 長
- 二 各学部長
- 三 各学部から選出された教授 各2名

第4条 議長は必要に応じ委員以外の職員を出席させることができる。

(任期)

第5条 第3条第3号の委員の任期は2カ年とする。ただし、補欠の委員の任期は前任者の任期の残余期間とする(議事)

第6条 本会は学長がこれを招集しその議長となる。  
2 学長が事故あるときは学長の指名する委員がこれに代わる。

第7条 本会は委員の3分の2以上が出席しなければ議事を開くことができない。

2 議事は出席者の過半数をもつて決する。可否同数のときは議長がこれを決する。

第8条 本会の事務は学生部で処理する。

附 則

この規程は昭和36年10月1日から実施する。

### 教育学部規程の一部改正

富山大学教育学部規程の一部を評議会の議を経て次のように改正する。

昭和36年9月22日

富山大学長 梅原真隆

第1条を次のように改める。

(専攻教科)

第1条 中等教育科の専攻教科は、(1) 国語 (2) 社会 (3) 数学 (4) 理科 (5) 音楽 (6) 美術 (7) 保健体育 (8) 家庭 (9) 技術 (10) 英語とする。

2 初等教育科の専攻教科は、(1) 国語 (2) 社会 (3) 数学 (4) 理科 (5) 音楽 (6) 図画工作 (7) 保健体育 (8) 家庭 (9) 教育学 (10) 教育心理学 とする。ただし、第二初等教育科は教育学、教育心理学を除く。

別表を次のように改める。

別表

科目別	学科別	第一初等教育科		第一中等教育科		第二初等教育科		第二中等教育科	
		教育学心理学専攻	教科専攻	甲教科専攻	乙教科専攻	甲教科専攻	乙教科専攻	甲教科専攻	乙教科専攻
一般教育	人文科学系列	12		12		6		6	
	社会科学系列	12		12		6		6	
	自然科学系列	12		12		6		6	
	計	36		36		18		18	
外国語	英語	8		8		4		4	
	ドイツ語	8		8		2		2	
	計	16		16		6		6	
体育	講義	2		2		1		1	
	実技	2		2		1		1	
	計	4		4		2		2	
専門	専攻科目	16				5 (1教科)		26	22
	基本科目	10		50	42				
	専攻以外の教科につき1教科各2単位								
	選択	4							
計	16	26	50	42	13		26	22	
	教材研究	16	16			14			

科目	単位	音楽・図画工作各2単位を必修し、5教科のうち4教科について8単位とする		音楽・図画工作各2単位を必修し、5教科のうち4教科について8単位とする	
		専攻教科につき	専攻科目につき	専攻教科につき	専攻科目につき
教科教育法		(1教科)3		(1教科)3	
教育原理	4	4	4	2	2
教育心理学	4	4	4	2	2
道德教育の研究	2	2	2	1	1
教育実習	4	4	3	4	2
選択	16	6	2	4	2
計	46	36	18	27	12
自由選択	22	22	16	24	4
特別研究					6
小計		84	84	44	44
合計		140	140	70	70

備考

- 初等教育科の学生は音楽、図画工作、体育3教科について基本科目各2単位を受講しなければならない。
- 第二中等教育科および第二初等教育科の各教科の取得単位の規定については必要に応じて別に定める。

教職科目(教科専攻)

科目	内容	開設単位	第一中等		第一初等	
			必	選必	必	選必
教育原理		4	4		4	
教育心理		4	4		4	
日本教育史		4				
西洋教育史		4				
教育哲学		2				
教育社会学		4				
教育課程		2				
生活指導(進路)		2				
学習指導		4				
教育行政		2				
児童心理学		4				
青年心理学		4				
幼児心理学		4				
学校保健		2				
社会教育		2				

	図 書 館 学	4				
教 材 研 究	欄 外 参 照	17			16	
	道徳教育の研究	4	2		2	
教 科 教 育 法	欄 外 参 照	43	3			
	教 育 実 習	4	4		4	
計		120	17	2	30	6
			19		36	
教科教育法内容						
国語科教育法	I II III 各 1					3
社会科教育法	総論 I 各論 3					4
数学科教育法	I II III 各 1					3
理科教育法	物理学 化学 各 1 生物学 地学					4
音楽科教育法	I II III 各 1					3
美術科教育法	I II III 各 1					3
保健体育科教育法	1					1
保健体育科 体育教育法	I II 各 1					2
保健体育科 保健教育法	I II 各 1					2
家庭科教育法	I II III 各 1					3
技術科教育法	I II III 各 1					3
農業科教育法	I II 各 1					2
工業科教育法	I II 各 1					2
商業科教育法	I II 各 1					2
英語科教育法	I II III 各 1					3
職業科教育法	I II III 各 1					3
計						43
教材研究内容						
国語科教材研究	I II 各 1					2
社会科教材研究	3					3
算数教材研究	2					2
理科教材研究	(物 理、化学) (生物学、地学) 各 1					2
音楽科教材研究	I II 各 1					2
図画工作科教材研究	I II 各 1					2
保健体育科教材研究	I II 各 1					2
家庭科教材研究	I II 各 1					2
計						17

指定以外のものは選択単位に認める。

教科名 国 語

学科目	内 容	開設 単位	第一中等		第一初等	
			必 選	必 選	必 選	必 選
国語学	国 語 概 説	2	2		2	
	国 語 各 論 I II III III V	10		2	8	2
	国 語 演 習	4	2		2	
	言 語 学 概 論	2			2	
	国語特別講義	2			2	
国文学	日本文学史	10	6		4	
	日本文学各論 (上代)	4		2	2	2
	同 上 (中古)	4		2	2	2
	同 上 (中世)	4		2	2	2
	同 上 (近世)	4		2	2	2
	同 上 (近代)	4	2		2	2
	日本文学講読演 習 (上代)	4	1		3	1
	同 上 (中古)	4	1		3	
	同 上 (中世)	4	1		3	1
	同 上 (近世)	4	1		3	1
	同 上 (近代)	5	2		3	1
	文学概論	2			2	
	日本文学特別 講 義	4			4	
	漢文学	中国文学史	4		2	2
中国思想史		4		2	2	
漢文学講読		5	2		3	1
書 道	書 法 I (楷書)	5	1		4	1
	同 上 II (行書)	5	1		4	1
	同 上 III (草書)	3		1	2	1
	同 上 III (かな)	5		1	2	1
	同 上 III (篆隸)	3		1	2	1
	書 道 史	8			8	
	書 論 研 究	2			2	
	書 式 研 究	1			1	
	書道特別講義	4			4	

基 科 目	本 目 設 目	学期始めに指定す							
特 科 目									
			22	12			8	8	
					8				
	計		126	42				16	

◎ 教科教育法および教材研究は教職科目の表に示す。

教科名 社会

学 科 目	内 容	開 設 単 位	第一中等						第一初等	
			共通 必修	第一類 (歴史) 選必	第二類 (地理) 選必	第三類 (法経) 選必	選必	選必	選必	選必
日本史学	×日本史学Ⅰ(古代)	2	2							2
	×日本史学Ⅱ(中世)	2	2							2
	×日本史学Ⅲ(近世)	2	2							2
	×日本史学Ⅳ(現代)	2		2		2		2		2
	日本史学演習	4		4		4		4		6
東洋史学	4		4		4		4			
西洋史学	×西洋史学Ⅰ(古代)	2	2							2
	×西洋史学Ⅱ(中世)	2		2		2		2		2
	×西洋史学Ⅲ(近代)	2	2							2
	西洋史学演習	4		4		4		4		
歴史学考古学	史学概論	2		2		2		2		
	考古学	2		2		2		2		
地理学	×地理学序論Ⅰ	2	2							2
	×地理学序論Ⅱ	2	2							2
	人文地理学各論Ⅰ(経済地理学)	2		2	2			2		
	人文地理学各論Ⅱ(歴史地理学)	2		2	2			2		
	人文地理学各論Ⅲ(集落地理学)	2		2	2			2		6
	人文地理学各論Ⅳ(人口地理学)	2		2	2			2		
人文地理学各論Ⅴ(民族学)	2		2	2			2			
地誌学	日本地誌	4		4	4			4		
	×外国地誌	8	4	4	4			4	4	
地理学	地形学	2		2	2			2		
	地図学	2		2	2			2		
	地理学演習(巡検含む)	5		5	5			5		
法	×法学概論	4	4							4
	憲法	4		4	4	4				
	民法	4		4	4	4				4

律 学	行政法	2			2		2		2	
	労働法	2			2		2	2		
	法律学演習	4			4		4	4		
政 治 学	政治学	4			4		4	4		
	×経済原論	4	4							4
	経済政策	2			2		2	2		
	経済史	2			2		2	2		
經 済 学	経済学演習	4			4		4	4		
	社会学	4		4		4		4		
哲 学	哲学	4	4					2		2
	倫理学	2	2							
社 会 学	社会科特別講	8			6	2	6	2	6	2
	×印のもの									
基 本 科 目 特 設 科 目										
	計		30		12 (演習 2を 含む)		12 (演習 2巡 検を 含む)		12 (演習 2を 含む)	16
				8		8		8		
						(+必修30)		(+必修30)		
		119		50		50		50		16

◎ 教科教育法および教材研究は教職科目の表に示す。

教科名 数学

学 科 目	内 容	開 設 単 位	第一中等			第一初等	
			必 修	選 必	選 必	必 修	選 必
数 学 概 論	数学概論	5			5		
代 数 学	×代数学Ⅰ	3	3				3
	代数学Ⅱ	3	2	1			3
	初等整数論	3	3				3
	代数的整数論	2				2	
	行列論	2				2	
幾 何 学	×初等幾何学	2	2				2
	×解析幾何学	4	4				4
	微分幾何学	2		2			
	射影幾何学	2		2			
	画法幾何学	2				2	2
	位相幾何学	4		4			4

	非ユークリッド幾何学	2			2		
解析学	×微分積分学	6	5	1			6
	複素函数論	3		3			3
	実函数論	3		3			3
	集合論及点集合論	3	3				3
	微分方程式論	2			2		
	位相解析	2		2			
応用数学	×統計学	3	3				3
	測量学	2	2				2
	確率論	2			2		2
	計測法	2			2		
	×計算法	2			2		
	力学	2			2		
	数学特別講義	20			20		
基科 特科	×印のもの						
本目 設目							
計			27	8			16
		88		42			16

◎ 教科教育法および教材研究は教職科目の表に示す。

教科名 理科

学 科 目	内 容	開 設 単 位	第 一 中 等				一 第 初 等		
			共 通 必 修	第 一 類 (物理) 選 必	第 二 類 (化学) 選 必	第 三 類 (生物) 選 必	第 四 類 (地学) 選 必	必 修	選 修
物 理	一般物理学ⅠⅡⅢ	6	6					(I) 2	4
	物理学各論	16	16		16	16	16		
	物理学実験	4	2	2	2	2	2		2
	物理数学	2	2		2	2	2		
	物理学演習	2	2		2	2	2		
	物理学特別講義	4	4						
	解析幾何学	2		2	2			2	
	微分積分学	4	2	2	4			2	
	複素函数論	2	2						
	計測法	2		2	2			2	
統計法	3		3						

学	計 算 法	2		2						
	測 量 学	2		2	2			2		
	微分方程式論	2		2						
	電 子 工 学	2		2	2					
	機械工学概論	2								
	電気工学概論	2								
	木 工	1		1	1	1	1			
	図学及び製図	1		1	1	1	1			
	化 学	化学総論Ⅰ	2	2						2
		化学総論ⅡⅢ	4	4						4
化学各論ⅠⅡⅢ		12		12	12		12	12		
化学特別講義ⅠⅡⅢⅣ		8			8					
化学実験Ⅰ		2	2						2	
化学実験ⅡⅢⅣ		6		Ⅲ 4	2	6	6			
農産製造学		4			4					
生 物		生物学総論ⅠⅡⅢ	6	Ⅰ 2	4	4	4		4	Ⅰ 2
		植物学ⅠⅡⅢ	6	Ⅰ 2	4	4	4		4	Ⅰ 2
		動物学ⅠⅡⅢ	6	Ⅰ 2	4	4	4		4	Ⅰ 2
	人体生理学	2		2	2	2		2		
	顕微鏡実験	2	2						2	
	生物学実験	7		7	7	7		7		
	◎生物学野外実習	2		2	2	2		2		
	生物学特別講義	3						3		
	衛生学Ⅰ	2		2	2	2				
	体育解剖学	2		2	2	2	2			
地 学	体育生理学	2		2		2				
	園 芸 学	2			2	2				
	畜産学汎論	2				2				
	地学総論ⅠⅡ	4	4					(I) 2	(II) 2	
	岩石鉱物学ⅠⅡ	4	(I) 2	2	2	2	2			
	地学実験Ⅰ	2	2							
	天 文 学	2		2	2	2	2			
	気 象 学	2		2	2	2	2			
	地 形 学	4		4	4	4	4		2	
	地 史 学	4		4	4	4	2	2		
古 生 物 学	2		2	2	2	2				

鉱床学(応用地質)	4		4	4	4	4		
地学実験Ⅱ	1		1	1	1	1		
◎野外巡検	2		2	2	2	2		
地学特別講義	3						3	
基本科目 初等科目(物理学) (化学)	1							
初等科目(生物学) (地学)	1							
特設科目								
計		32	12	12	12	12	8	8 (四各二単位宛よ)
			6	6	6	6		
			(+必修32)	(+必修32)	(+必修32)			
	179	50	50	50	50		16	

備考 1.◎印は実験の単位として認める。  
2.教科教育法および教材研究は教職科目の表に示す。

教科名 音楽

学科目	内 容	開設 単位	第一中等			第一初等	
			必	選必	選	必	選必
ソルフエー ージュ	ソルフエー ージュⅠⅡⅢ	3	1	1	1	1	1
	ソルフエー ージュⅢⅣⅤ	2	1		1		
声 楽 (合唱を 含む)	初等唱歌法	2				1	1
	独唱法ⅠⅡ	4	2	1	1		
	独唱法ⅢⅣ	3	1	1	1		
	合唱法	5	2	1	2		2
器 楽 (合奏を 含む)	初等ピアノ奏法	2				1	1
	ピアノ奏法ⅠⅡ	5	2	1	2		
	ピアノ奏法ⅢⅣ	3	1	1	1		
	弦楽器奏法(バ イオリン・セロ)	5	2	1	2		1
	管・打楽器奏法	2			2		
合奏法	5	2	1	2		2	
指揮法	指 揮 法	2	2			1	
音楽理論 及び 音楽史	音楽通論	2	2			2	
	和声楽ⅠⅡ	4	2	2			2
	対位法ⅠⅡ	4		2	2		
	作曲法ⅠⅡ	4	2	2			2

西洋音楽史ⅠⅡ ⅢⅣⅤ	8	4	2	2	2	2
	日本音楽史ⅠⅡ	4		2	2	
	音楽美学	4		2	2	
基本科目	ソルフエー ージュ	1				
	ピアノ奏法	1				
特設科目						
計		26	12		8	8
			4			
	75		42		16	

◎教科教育法および教材研究は教職科目の表に示す。

教科名 美術・図画工作

学科目	内 容	開設 単位	第一中等		第一初等	
			必	選必	選	必
絵 画	素 描Ⅰ	6	2	1	3	
	素 描Ⅱ	5	1	1	3	
	彩 画Ⅰ	6	2		4	
	彩 画Ⅱ	5	1	2	2	
	版 画	2	1		1	
デザイン	デザイン(平面)	2	1	1		1
	色 彩 学	2	1	1		1
工芸制作 及 理 論	木 工Ⅰ	4	1	1	2	2
	木 工Ⅱ	4		2	2	
	金 工	2			2	
彫 塑	窯 芸	4	2		2	
	デザイン(構成 を含む)	4	2	1	1	1
彫 塑	図法及製図	2	1	1		1
	彫 塑Ⅰ	4	2	2		
美術理論 及び 美術史	彫 塑Ⅱ	4	1		3	
	美学概論	4	2	2		2
美術史	美術教育論	4		2	2	
	日本美術史	6	2	2	2	2
	西洋美術史	6	2	2	2	2
基本科目	美術史演習	2		1	1	1
	基本図画	1				
特設科目	基本工作	1				

計	80	24	12	6	16
		42			

◎教科教育法および教材研究は教職科目の表に示す。

教科名 保健体育

学 科 目	内 容	開設 単位	第一中等		第一初等		
			必 選	必 選	必 選	必 選	
体育原理	体 育 概 論	2	2			2	
	体育原理演習	1	1			1	
	体育史概論	2	2			2	
	体育心理学	2	2			2	
	体育心理学演習 I II	2	2			3	
	体育社会学	2	2			2	
	体育社会学演習 I II	2	2				
	身体運動学	2	2	2		2	
	身体運動学演習 I II	2	2			1	
	体育管理	2	2			2	
体育管理	体育施設・体育 演習 I II	2	2			2	
	運 動 論	2	2			2	
	舞 踊 概 論	2	2				
	コーチング演習 I II	2	2			2	
	社 会 体 育	2	2				
	レクリエーション 論	2			2		
	体 操	5	1	1	男	3	1
陸 上 競 技	5	1	1	女	3	1	
ダ ン ス	5	2	2	女男 2 1	2	2	
柔 道	3	1	1		2		
剣 道	3	1	1	男	2		
す も う	2	1	1		1		
体育実技	サ ッ カ ー	2	男	1		1	1
	バレーボール	2	1			1	2
	バスケットボール	3	1			1	1
	ハンドボール	2	1	1		1	
	テ ニ ス	2	1	1		1	
	ソフトボール	2	1	1		1	
	野外実習(スキー、 水泳、登山)	4	2			2	2

	初等ピアノ奏法	2			2	
生 理 学	体 育 解 剖 学	2	2			2
	体育解剖学演習	1	1			2
	体 育 生 理 学	2	2	1		2
	体育生理学演習 及 実 験	2	2			2
	発 育 学	2			2	
	栄 養 学 I	2			2	
衛 生 学	衛 生 学 I	2	2			2
	衛 生 学 II	2	2			
	細菌及免疫学	2			2	
	民族衛生及衛生 政策	2		2	2	2
	救急処置及び看 護法	2	2			2
	学校保健管理	2	2			
	健康教育概論	2	2			2
	特 別 演 習	2	2			2
基本科目	保健体育特別講義	4			4	
	初等科体育 I	1				
特設科目	初等科体育 II	1				
	計	106	24	12	6	4
					12	16

◎教科教育法および教材研究は教職科目の表に示す。

教科名 家庭

学 科 目	内 容	開設 単位	第一中等		第一初等		
			必 選	必 選	必 選	必 選	
食 品 学	×食品学 I	2	2			2	
	食 品 学 II	2		2		2	
	食 品 学 III	2		2			
	×食品衛生	2		2			
	×栄養学 I	2	2			2	
	栄 養 学 II	2		2			
	栄養及び食品 学実験	4	1	2	1	2	
	食 品 衛 生 実 習	1	1			1	
	調理実習	調 理 科 学	2		2		
		調理科学実験	1	1			



	×調理Ⅰ	2	2		1	1
	調理Ⅱ	2	2			1
	調理Ⅲ	3		2	1	
	食物史	2		2		
	細菌及免疫学	2		2		
	顕微鏡実験	2		2		
	食品化学	2		2		
	農産製造学	2		2		
衣料学	×衣料学Ⅰ	2			2	2
	衣料学Ⅱ	2		2		
	衣料学Ⅲ	4	2		2	
	×衣料学Ⅳ	2		2		
	衣料学実験実習	3	2	1		2
被服学	被服学Ⅰ	2		2		
	×被服学Ⅱ	2		2		2
	被服学Ⅲ	2		2		
	被服学実験	3	2		1	1
	被服構成学	2		2		2
衣服実習	被服構成学実験	1	1			
	×被服工作Ⅰ	4	2	2	1	1
	×被服工作Ⅱ	4	2	2		1
	×被服工作Ⅲ	2		2		1
	素描Ⅰ	2		2		
	彫塑Ⅰ	2		2		
	デザイン(平面)	1		1		
家庭管理	×家政学概論	2		2		2
	家庭管理	2	1	1	1	
	家庭経済	2		2		
	家族関係	2	2			
住居学	民法	2		2		
	×住居学	4	2		2	2
	住居学演習	1		1		
	園芸学	2		2		
育児	×育児学Ⅰ	2	2			2
	育児学Ⅱ	2		2		
	幼児心理学	2		2		

家庭看護学	×家庭看護学同演習	3	1	1	1	1	
	育児家庭看護実習	2		1	1		1
	衛生学Ⅰ	2			2		
家庭機械	家庭機械・家庭工作	2	2				2
	家庭機械・家庭工作実習	2	1	1			
	設計・製図	2	1	1			1
家庭工作	木工Ⅰ	2		2			
	金工	1			1		
	家庭科特別講義	10			10		
基本科目	×印のもの						
特設科目							
			34	12		8	8
	計			4			
		126		50		16	

◎教科教育法および教材研究は教職科目の表に示す。

学科目	内 容	開設 単位	第一中等教育科			
			共通 必修	第一類 選必	第二類 選必	第二類 選
設計・ 製 図	図学・製図	2	2			
	機械製図	2	1		1	1
	造形設計・ 同演習	2	1		1	1
木工・ 金 工	木材加工法	4			4	4
	木工実習	2	2			
	金属加工法	4	2		2	2
	金工実習	2	2			
工 業	工業概論	4	2		2	2
	材料化学・同実習	2	2			
	材料化学各論	4			4	4
	材料化学実験	2			2	2
	材料化学演習	2			2	2
	機械工学概論	2	2			
	機械工学実習	2	2			
	工業力学	4			4	4
工業熱力学	2			2	2	
機 構 学	2			2	2	
動力機械・生 産機械	2			2	2	

工 業	精密測定・精密機械	2		2	2					
	機械設計法	4		4	4					
	機械工作法	2		2	2					
	機械工学実験	2		2	2					
	機械工学演習	2		2	2					
	電気工学概論	2	2							
	電気工学実習	2	2							
	電気磁気学	4		4	4					
	電気回路	2		2	2					
	電子工学	2		2	2					
	自動制御	2		2	2					
	通信機器	2		2	2					
	照明及び電熱	2		2	2					
	電力機械	2		2	2					
	電気工学実験	2		2	2					
	電気工学演習	2		2	2					
	代数学 I	3		3		3				
	解析幾何学	2		2		2				
	農 業	微分積分学	4		4	4				
		微分方程式論	2		2	2				
計測法		2		2	2					
一般物理学 I II III		6		6	6					
化学総論 I II III		6		6	6					
作物学・同実験		3	3							
作物学汎論		2		2		2				
作物学各論		4		4		4				
作物学特論		2		2		2				
園芸学		4	2	2		2				
育種学	2		2		2					
栽培実験・実習	2		2		2					
畜産学・同実験	1	1								
畜産学汎論	2		2		2					
畜産学各論	4		4		4					
畜産経営論	2		2		2					
飼料学	2		2		2					
畜産学実験・実習	2		2		2					
水 産	農業実習	2	2							
	農業機械実習	2		2		2				
	土壌肥料学	4		4		4				
	農産製造学	4		4		4				
	食品化学	2		2		2				
	農芸化学実験・実習	1		1		1				
	農業地理学	2		2		2				
	生物学総論	2		2		2				
	植物学 I	2		2		2				
	動物学 I	2		2		2				
	農業政策	4		4		4				
	水産学概論	2			2		2			
	水産学実習	1			1		1			
	商 業	商業概論	4			4		4		
		簿記概論	4			4		4		
経営学		4			4		4			
経済地理		2			2		2			
経済原論		4			4		4			
産業概説	4	2		2		2				
職業指導	職業指導原理	4	2		2		2			
	職業指導の技術	4			4		4			
技術史	技術史	6		2	4	2	4			
	測量学	2			2		2			
	統計学	3			3		3			
特設科目										
計			34	10		10				
				6		6				
		210		50		50				

◎教科教育法は教職科目の表に示す。

教科名 英語

学科目	内 容	開設単位	第一中等		
			必	選必	選
英語学	英語音声学	4	4		
	英語史	2		2	
	英文法	4	4		
	英作文	5	2	2	1

	英 会 話	5	2	2	1
	英 語 学 演 習	5	2	2	1
	英語学特別講義	2			2
英文学	英 文 学 史	4	4		
	米 文 学 史	2		2	
	英米文学講読Ⅰ	5	} 8	} 8	} 4
	〃 Ⅱ	5			
	〃 Ⅲ	5			
	〃 Ⅳ	5			
	英米文学演習	5	2	2	1
	英米文学特別講義	2			2
言語学	言語学概論	2		2	
特設科目					
	計		28	8	6
		62		42	

◎教科教育法は教職科目の表に示す。

教科名 教育 学

学科目	内 容	開設単位	第一初等	
			必	選 必
	初等教育原理	4	4	
	初等教育心理	4	4	
	日本教育史	4	} 12	
	西洋教育史	4		
	教育哲学	2		
	教育社会学	4		
	教育行政	2		
	教育法規	2		
	初等教育課程	2		
	教育方法概説	2		
	学習指導	4		
	生活指導	2		
	視聴覚教育	2		
	学校管理	2		
	学級経営	2		
	教育統計	2		

	教育財政	2	} 2	
	社会教育	2		
	図書館学	4		
	教育学特別講義	4		
	幼児心理学	4		
	児童心理学	4		
	教育学演習	4		1
	教育心理学実験Ⅰ	4		1
	教材研究	17		16
	道德教育の研究	4		2
	教育実習	4	4	
特設科目				
	計		30	16
		97	46	

教科名 教育心理学

学科目	内 容	開設単位	第一初等	
			必	選 必
	教育心理学	4	4	
	初等教育原理	4	4	
	幼児心理学	4	} 2	
	児童心理学	4		
	青年心理学	4		
	教科心理学	2		
	学習心理学	2	} 2	
	社会心理学	2		
	学級心理学	2	} 2	
	グループダイナミックス	2		
	心理治療	2		
	臨床心理学	2	} 2	
	精神衛生	2		
	精神薄弱児の心理	2		
	教育評価	2	} 2	
	教育統計	2		
	心理学測定	2		
	心理学史	2		
	教育心理学実験Ⅰ	2		1

教育心理学実験Ⅱ	4		1
教育心理学演習	4		2
教 育 史	4	}	2
学 習 指 導	4		
教育社会学	4		
教育実習	4	4	
教材研究	17	16	
道德教育の研究	4	2	
教育心理学特別講義	4		4
特設科目			
計	97	30	16
		46	

下記免許取得のための開講単位

免許状の種類	学 科 目	内 容	開設単位	備考
職業指導	職業指導	職業指導原理	4	
	職業指導の技術	精神検査(実習2を含む)	4	
		面接相談の技術	4	
	職業指導の運営管理	職業指導の運営管理	4	
		職業情報	2	
		職業分析と自己分析	2	
	保健	学校保健	保健評価実習	2
衛生学		運動衛生学	2	
幼稚園	教育実習	幼稚園実習	2	
	保育内容研究	保育音楽	2	
		保育図工	2	
		保育体育	1	
	保育ダンス	1		
養護学校	異常児教育	特殊教育概論	2	
		精神薄弱児指導法	2	
	教育実習	精神薄弱児教育実習	2	
	異常児の病理と保健指導	精神薄弱児の病理	2	
		精神薄弱児の保健指導	2	
計		42		

「保健」免許状取得学科課程				
学 科 目	内 容	開設単位	取 得 単 位	
			二級免許	一級免許
生理学	体育生理学	2	}	14
	体育生理学演習及実験	2		
	人体生理学	2		
	体育解剖学	2		
	体育解剖学演習	1		
	細菌学	細菌及び免疫学		
	生物学実験	2	6	
栄養学	発 育 学	2	}	12
	栄養学ⅠⅡ	4		
	栄養及び食品学実験	4		
	食品学ⅠⅡⅢ	6		
	食品化学	2		
	調理科学	3		
衛生学	衛生学ⅠⅡ	4	}	6
	救急処置及び看護学	2		
	家庭看護学同演習	3		
	民族衛生及び衛生政策	2		
	運動衛生学	2		
	食品衛生	2		
学校保健	健康教育概論	2	}	4
	学校保健管理	2		
	保健評価実習	2		
計		55	16	32

「職業」「農業」「工業」「商業」の免許状取得学科課程

技 術 学 科 目	開設単位	必修				備 考
		職業	農業	工業	商業	
図学・製図	6	4	4	4		
木工・金工	12	6	6	6		
工 業	89	12	12	18	6	
農 業	59	8	8	25	4	
水 産	3		2	3	2	
商 業	18		2		18	

産業概説	4	2	2	4	4	4
職業指導	8	2	4	4	4	4
	11			4	4	2
技術科特設科目						
計	210	34	40	40	40	40

附則の次に次の附則を加える

附 則 (昭和36年9月22日改正)

この規程(改正)は昭和36年9月22日から実施し、昭和35年度入学生から適用する。ただし、昭和34年度以前の入学生は改正前の規定による。

**共済組合関係通知**

海外出張における特別貸付

海外出張者が自費で海外渡航をする場合、この資金の一部を文部省共済組合貸付金から借用できないものかと申込みられた最近の事例に鑑み、本省管理局福利課では、このほど各支部担当者に次のとおり通知してきた。

文部省共済組合貸付規程第4条第2項第5号の「その他本部長が必要と認めた場合」の規定の運用により、貸付資金状況緩和されるまで当分の間下記のとおり運用する。

記

1. 旅費、滞在費が支給されない場合に限る。
2. 貸付限度額は20万円。
3. 返済期間は40ヶ月とする。
4. 貸付資金は支部の手持資金により賄うものとする。
5. 連帯保証人に関しては文部省共済組合貸付規程第10条および第11条を準用する。

人事異動

現官職	氏名	異動内容	発令年月日	発令庁
	伊藤 淳 巳	講師(富山大学経営短期大学部)に採用する 任期は昭和37年3月31日までとする	36. 7. 20	富山大学経営短期大学部
	南部 睦	助手(文理学部)に採用する	36. 8. 1	富山大学
事務員 (附属図書館)	秋元 国 男	文部事務官に任官させる	〃	〃
〃 (教育学部)	奥村 行 夫	〃	〃	〃
〃 (文理学部)	中田 昭 輝	〃	〃	〃
〃 (工学部)	本沢 健 二	〃	〃	〃
〃 (附属図書館)	城石 孝 昌	〃	〃	〃
	印南 博 吉	講師(経済学部)に採用する 任期は昭和36年9月30日までとする	〃	〃
郵政技官 北陸電波管理局 監視部長	小田 貞 失	講師(工学部)に併任する 任期は昭和36年10月10日までとする	〃	〃
助教 (教育学部)	高森 乙 松	教授に昇任させる	36. 8. 16	文 部 省
( 〃 )	酒井 康 彦	〃	〃	〃
	進野 宮 子	事務補佐員(工学部)に採用する 任期は昭和37年3月31日までとする	36. 8. 21	富山大学
教授 (薬学部)	横田 嘉右衛門	薬学部長に併任する 任期は昭和38年3月31日までとする 評議員に併任する 任期は昭和38年3月31日までとする	36. 8. 24	文 部 省
	松井 巖	助手(文理学部)に採用する	36. 9. 1	富山大学
助教 (経営短期大学部)	水井 謹 作	昭和36年度文部省内地研究員を命ずる 但し昭和37年2月28日迄東京立商短期大学において商業英語を研究するものとする	〃	〃
講師 (経済学部)	武 暢 夫	昭和36年度文部省内地研究員を命ずる 但し昭和37年2月28日迄京都大学において経済学を研究するものとする	〃	〃
〃 (文理学部)	松沢 芳 郎	昭和36年度文部省内地研究員を命ずる 但し昭和37年2月28日まで東京大学においてドイツ文学を研究するものとする	〃	〃
助手 (教育学部)	石黒 国 雄	昭和36年度文部省内地研究員を命ずる 但し昭和37年2月28日まで東京教育大学において体育学を研究するものとする	〃	〃

教授 (文理学部)	高瀬重雄	文理学部長に併任する 任期は昭和38年8月30日までとする 評議員に併任する 任期は昭和38年9月30日までとする	36. 9. 1	文 部 省
お茶の水女子大学 教授	立花太郎	講師(文理学部)に併任する 任期は昭和37年3月31日までとする	〃	富山大学
	松村清次郎	講師(富山大学経営短期大学部)に採用する 任期は昭和36年9月30日までとする	〃	富山大学経営 短期大学部
教授 (教育学部)	佐々木龍作	学生部長に併任する 任期は昭和38年9月14日までとする	36. 9. 15	文 部 省
〃 〃	山本健磨	附属図書館長に併任する 任期は昭和38年9月15日までとする	36. 9. 16	〃
事務員 (工学部)	中島澄子	復職した	36. 9. 22	富山大学
技能員 炊 婦	増岡愛子	辞職を承認する	36. 9. 25	〃
金沢大学 講師	都島文行	講師(文理学部)の併任を解除する	36. 9. 30	〃

総 合 情 報

給与実施状況監査

本学の給与実施の状況についての本省の監査は9月21、22日の両日本省大臣官房人事課給与班の木村茂雄係長大野俊一、後藤一雄の3事務官によつて行なわれた。

2日目に行なわれた講評において多少の注意事項と報告事項があつたが何れも手続上の遺漏過誤であつて、総じて講評は上々であつた。

学生部長と附属図書館長の更送

大島文雄学生部長は9月14日、中沖太七郎附属図書館長は9月15日、をもつて任期満了となるので、9月15日開催の評議会、および協議会の結果、学生部長には教育学部佐々木竜作教授、また附属図書館長には同じく教育学部山本健磨教授の両者が選ばれ、学生部長は9月15日、附属図書館長は9月16日からそれぞれ発令になつた。

池田、深井両助教授の学位取得

経済学部の池田直視助教授はかねて九州大学に「労働者の経営参加の基本問題」なる論文を提出し、高田源清教授主査のもとに審査を受けていたが、9月28日同学法学部教授会を通過し、法学博士の学位を授けられることゝなつた。

また教育学部深井三郎助教授は「飛騨山脈とその山麓の地形発達史」なる学位論文を東北大学理学部に提出審査を受けていたが、9月25日同学部の教授会を通過した旨の通知あり、理学博士の称号を得ることゝなつた。

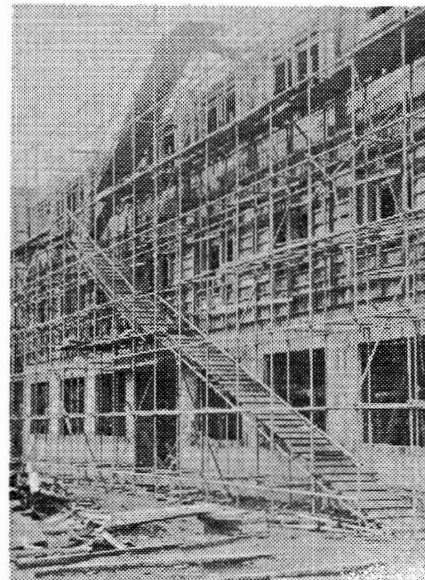
文理学部校舎新営ならびに自然

科学教室増築工事

7月18日起工式を行つて始められた五福地区集中計画の一環である文理学部の新築ならびに同自然科学教室の増築工事は、著々と進行中であるが、その工事の概要は次のとお

りである。

契約 昭和36年6月30日  
竣工予定 〃 37年3月30日  
請負者 大成建設株式会社新潟支店  
工事の名称および建物の坪数



(増築自然科学教室向つて左方は既設部分)

富山大学文理学部教室、実験室新営工事  
および富山大学文理学部講義棟其他模様替工事  
人文科学教室  
鉄筋コンクリート造4階建  
建坪261,565坪  
延坪1,051,676坪  
人文科学合併教室、鉄筋コ

ンクリート造2階建  
建坪151,008坪 延坪282,559坪  
自然科学教室鉄筋コンクリート造4階建(一部3階建)  
建坪118,325坪 延坪423,014坪  
同上付帯電気工事  
請負者 竹下電気株式会社  
契約年月日 昭和36年8月26日  
竣工予定 〃 37年3月15日  
同上付帯給排水瓦斯工事  
請負者 北陸設備工業株式会社  
契約年月日 昭和36年9月9日  
竣工予定 〃 37年3月15日  
工事進捗状況  
イ、人文科学教室、現在基礎工事を完了し10月下旬頃

までに2階床までコンクリート打ちを終わり11月末までにコンクリート打ちを終わる予定

ロ、人文科学合併教室、現在1階コンクリート打ち準備をほぼ完了し、10月下旬頃までには2階コンクリート打ちを完了の予定

ハ、自然科学教室、現在3階床までにコンクリート打ちを終わり、11月上旬までには屋上までコンクリート打ちを完了の予定

なお上記の建物は夫々年内には一応コンクリート打ちおよび外部窓廻りの嵌込完了の予定

木造建物も逐次進行し、年内には約70%を完了する見込

人文科学教室……使用内容

- 1階……管理部門関係
2階……講義室および学生控室関係
3階……研究室および演習室
4階……研究室および演習室関係

人文科学合併教室

- 1階……中講義室……2 (194名計388名収容)
2階……大講義室……1 (392名収容)

自然科学教室

- 1階……実験室関係
2階……学生実験室および測定室
3階……学生実験室標本室
4階……学生実験室関係

昭和36年度秋季定時制認定講習

今秋の定時制認定講習は次のとおり実施された。

- 1. 期 間 10月28~11月19日
2. 講習課程 一般教育科目 2科目
教科専門科目 3〃
教職専門科目 6〃
養護専門科目 1〃

3. 講習日程及び会場

Table with 5 columns: 科目, 講師名, 期日, 会場. Rows include subjects like 社会学, 職業指導, 道德教育の研究, etc.

Table with 5 columns: 〃, 保育内容の研究, 頭川徹治, 〃, 〃. Rows include 一般教育, 憲法, 新田隆信, etc.

レクリエーション便り

文部省共済組合

東海北陸地区体育大会

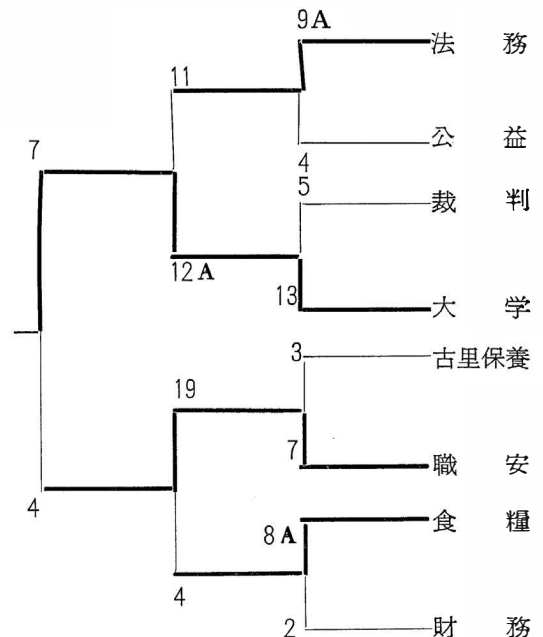
ことしの大会は三重大学と鳥羽商船が当番校となり津市の同大学農学部を主たる会場として8月3.4の両日行なわれた。本学は全種目に選手を送つたが、排球、庭球は予選で、卓球は決勝トーナメント1回戦で、野球は準決勝戦でそして、ソフトボールは緒戦で夫々敗れた。

決勝戦における戦績は次のとおりである。

Table with 5 columns: 種目, 順位, 優勝, 準優勝, 優勝. Rows include 野球, 庭球, 排球, 卓球, ソフトボール.

富山地区野球大会

この大会は8月29日と9月1日の両日本学五福グラウンドで行なわれた。本学チームはホームグラウンドの心安さもあつて、善戦昨年に引き続いて優勝した。戦績は次のとおりである。



優勝戦経過

	1	2	3	4	5	6	7	計
大 学	1	4	1	0	0	0	1	7
職 安	0	1	2	0	1	0	0	4

全国公務員レクリエーション  
共 同 事 業

ソ フ ト ボ ー ル 大 会

ソフトボール大会は8月30日南部中学校グラウンドで行なわれた。参加機関15、チーム数19であり、地区共同事業ではこの種目の競技は一番盛んである。グラウンドを二つの会場に分けて試合を進めたが日没となり、決勝戦は翌日に持ち越された。本学からは2チーム出場したがそのうちBチームが優勝した。

	1	2	3	4	5	6	7	計
電波A	0	1	0	2	1	3	0	7
大学B	0	0	3	0	2	0	3	8

バ レ ー ボ ー ル

この大会は9月25日本学五福コートで開かれた。参加者は7機関7チームであり、本学からは1チームが参加したが食糧事務所チームと大接戦を演じて敗れた。

A ゾ ー ン

	法 務	営 林	食 糧	郵 便	計
法 務	/	×	0	0	0
営 林	×	/	×	×	×
食 糧	2	×	/	2	4
郵 便	2	×	0	/	2

B ゾ ー ン

	建 設	財 務	富 大	裁 判	計
建 設	/	0	1	2	3
財 務	2	/	1	2	5
富 大	2	2	/	2	6
裁 判	0	1	0	/	1

優 勝 戦 食糧事務所対富山大学 2対1

学 部 情 報

教 育 学 部

全 国 音 楽 教 育 研 究 会

第8回のこの大会は9月16・17・18日の3日間富山で行なわれた。この大会は文部省、富山県、及び富山市の教育委員会それに本学の主催で行なわれたものであつて、本学の音学教室がその中心をなしている。これは幼稚園から高等学校までの全国の音楽教育の代表者が集つて、研究の発表、分科会における討議など現在当面している音楽教育の諸問題を研究討議するものであり、今回の研究テーマは「より美しい音楽によるこびを持つ学習」となつてゐる。

なおこの大会は高崎市を皮切りとして、大阪、旭川、高知、山形、岐阜、福岡の順で回を重ね、今回の富山市となつたものである。会場には富山市公会堂ほか堀川小学校や堀川中学校が当てられ盛会のうちに終わつてゐる。

経 済 学 部

国 際 経 済 学 会 第 20 回 大 会

国際経済学会第20回大会がこの10月4・5の2日間経済学部で行なわれた。新制大学でこの会が催されたのは、これが初めてであるということである。司会、報告、討論する者の他著名な経済学者が多数来会し、本学で催された学会中特筆すべきものの一つであらう。

日本国際経済学会第20回大会が10月4・5両日にわたり、経済学部において開催され、1番教室、2番教室および3番教室が研究報告会場にあてられた。そのプログラムは次の通りである。

第1日(10月4日)午前 自由論題(9.00—12.00)

第1部会 座長 柴田 裕 (富山大)

・先進国の経済成長と循環の計測的モデルについて

報告者 瀬 尾 美巳子(関西大)

討論者 柴 山 幸 治(大阪市大)

・国際経済における均衡成長

報告者 渡 部 福太郎(学習院大)

討論者 片 野 彦 二(神戸大)

・投資基準について

報告者 小 山 満 男(広島大)

討論者 麻 田 四 郎(小樽商大)

第2部会 座長 堀 江 忠 男 (早稲田大)

・東欧諸国の経済協力

報告者 加 藤 寛(慶応大)

丹 羽 春 喜(関西学大)



- 討論者 長 砂 実 (富山経短大)
- ・ 社会主義国際分業の現段階とループルの性格について
- 報告者 有 木 宗一郎 (下関商短大)
- 討論者 鈴 木 重 靖 (山 口 大)

- ・ 経済競争と市場条件
- 報告者 寺 井 鉄 三 (大阪市大)
- 討論者 杉 本 昭 七 (関 西 大)

第3部会 座長 白石 孝 (慶応大)

- ・ 日本における外国資本の役割 (戦前)
- 報告者 相 原 光 (横浜市大)
- 討論者 池 本 清 (桃山学院大)

- ・ 経済成長と海運国際収支
- 報告者 伊 坂 市 助 (関東学院大)
- 討論者 武 藤 正 平 (横浜国大)

- ・ 世界貨幣と資本
- 報告者 柳 井 哲 男 (早稲田大)
- 討論者 小 野 朝 男 (和歌山大)

第1日 午後 共通論題 (13.00—16.00)

- 座 長 小 島 清 (一 橋 大)
- 論 題 世界経済と国際通貨
- 一戦後における実態と機構一

- ・ アメリカの貿易収支とドル過剰
- 入 江 猪太郎 (神 戸 大)
- ・ 国際 (金) ドル為替本位制のもつ諸欠陥とトリフィン案、ベルンスタイン案その他
- 報告者 北 川 一 雄 (名古屋大)
- 〃 村 野 孝 (日本輸銀)

◎ 広貫堂見学 (16.00—17.00)

第2日 (10月5日) 午前 共通論題 (9.00—12.00)

- 座 長 名 和 統 一 (大阪市大)
- ・ 戦後世界社会資本主義の安定の評価について
- 一全般的危機第三段階説の検討一

- 報告者 内 田 稔 吉 (富山大)
- ・ ドル本位制と国際通貨機構の将来
- 報告者 内 田 義 三 (大阪市大)

- ・ ループル問題
- 報告者 野々村 一 雄 (一 橋 大)

第2日 午後 共通論題 合同討論会 (13.00—17.00)

- 座 長 小 椋 広 勝 (立命館大)
- 名 和 統 一 (大阪市大)
- 小 島 清 (一 橋 大)
- 討論者 土 屋 六 郎 (中央大)
- 渡 辺 太 郎 (大阪大)
- 池 田 穎 昭 (立教大)
- 吉 野 昌 甫 (一 橋 大)
- 片 山 謙 二 (関西学大)
- 西 田 勲 (専 修 大)

参会者は190名に達したが、中央を離れて開かれた本学会として極めて盛況であり、また、報告者が15名の多くを数えたことも学会初めの試みであつた。学会報告の多くは最近のアメリカ経済の相対的弱体化、したがつて、ドルの不安に原因を置く世界経済ならびに日本経済の諸問題の解明を意図したものであつたが、一致した結論は出ないにしても十分な成果をおさめたと評価される。

本学会は経済学部創立三十五周年を記念して行なわれた関係上 (昨昭和三十五年が創立三十五周年にあたるが、準備の都合上学会開催が本年になつたものである)、学会開催に先立つ10月3日に、電気ビル五階ホールにおいて記念講演会が開かれた。演題ならびに講師は次の通りである。

国際収支と日本経済

京都大学教授 松 井 清

世界景気と国際通貨

一橋大学名誉教授 赤 松 要  
明治大学教授

本記念講演会は富山経済同友会との共催のもとに北日本新聞社の後援で行なわれたことを記しておく。

学会最後の日の10月5日午後5時半から、電気ビル5階ホールにおいて、富山大学長、富山県知事ならびに、富山市市長の共同招待によるレセプションが開かれた。招待者はいずれも歓迎の挨拶の中で富山の開発計画にふれて学会との連繋を期待する旨を強調したが出席会員に大きな感銘を与えた。レセプションの終り近くなつて、八尾小原保存会による小原節の披露があつたが、会員の絶賛を博した。

学会終了翌日の10月6日には二班に分けて黒部と立山の観光を案内した。会期中天候に恵まれなかつたが、観光当日は時に青空を見る幸運であつた。

本学会開催に当つては大学本部を初め当地方の有力会社の精神的、財政的援助を受けるもの大であつた。記して感謝の意を表する。(柴田 裕)

日 誌

本 部

- 8月3~4日 共済組合東海北陸地区体育大会(三重大学)
- 8 定員外職員調査に対する説明会 (文部、福井、金沢、商船、学部事務長)
- 6~10 定員外職員実態調査 (行政監察局)
- 11 建築委員会 学部長会議
- 17 補導協議会
- 22 学校図書館司書教諭講習会閉講式
- 23 学生就職対策会議
- 24 事務協議会、小委員会
- 29 共済組合野球大会 (優勝)

- 30 全国公務員富山地区ソフトボール大会(優勝)
- 9 8 評議会、協議会
- 11 事務協議会
- 15 学生部長、図書館長、更迭
- 16 全国音楽教育研究大会 台風18号夕刻通過
- 21~22 文部省給与監査
- 29 日本学術会議

**文 理 学 部**

- 7 19 文理学部新築起工式 (於五福)
- 8 9 学部補導委員会
- 9 2 後期授業開始
- 6 学部教授会
- 13 職業補導委員会
- 22 文理省給与現地監査
- 27 学部教授会  
人事教授会

**教 育 学 部**

- 7 28~8.30 氷見市中波海岸において必修体育の学生および専攻生の水泳実習 約 150名参加
- 8 6~12 有峰、太郎山、三俣連華、鳥帽子平、浄土山等へキャンプ登山実習、体育専攻学生のみ参加
- 8 4 第一中等教育科の小林章子大学正門前で自動車事故で死亡
- 9 1 日本教育大学北陸地区第二部会書道科研究協議会(黒田講堂)
- 14~15 日本教育大学協会北陸地区第二部会職業および職業指導科研究協議会(教育学部)
- 23. 24 学部レクリエーション(妙高高原池の平保養所および野尻湖)

**経 済 学 部**

- 8 1 職業補導委員会
- 8 //
- 22 //
- 9 5 //
- 7 教務委員会、教授会(8回)
- 8~15日 期末試験
- 19 職業補導委員会
- 21 教務委員会、教授会(9回) 人事教授会
- 28 教授会(10回)
- 29 日本学術会議第3部会(本学部会議室)

**薬 学 部**

- 8 7 本学部卒業生、大学院在學生と大学院入学志願者との懇談会
- 10 全国大学準硬式野球大会出場の野球部壮行式

- 11 全上、部員、白山号にて富山駅出発
- 13 全国大学準硬式野球大会(於東京神宮球場)(関西学院大学6:0本学部)  
旧職員、梶川米次郎並びに和泉幸吉死去
- 9 5 夏季休業終了
- 6 授業開始 教授会
- 13 教授会
- 18 カリキュラム委員会
- 9 19 講座主任会議
- 20 講座主任会議
- 21 講座主任会議
- 23 } 昭和11年度卒業生一行来部
- 24 } 秋分の日 北陸、甲信越薬学大会(於新潟市)  
秋のレクリエーション実施(姫川温泉)  
教授会、3年次前期々末試験(10月2日まで)
- 28 国立大学薬学部(科)長会議(於、東京大学)
- 29 国立新制6大学薬学部長会議(東京)

**附 属 図 書 館**

- 8 5 第2回図書館商議会
- 8.31~9.1 北信地区国立大学図書館協議会
- 9 16 新館長の発令  
教育学部教授 山本健磨
- 9 30 第3回図書館商議会

~~~~~  
**職 員 住 所 異 動**  
~~~~~

工学部 野路末吉

文理学部 上野英雄

大谷重彦

教育学部 大滝直平

岩田弘

経営短大 田村茂夫

経済学部 山本英治

学生部 山本昭子

新規採用者

文理学部 南部 睦 (化学、助手)

// 松井 巖 (ドイツ文学、助手)

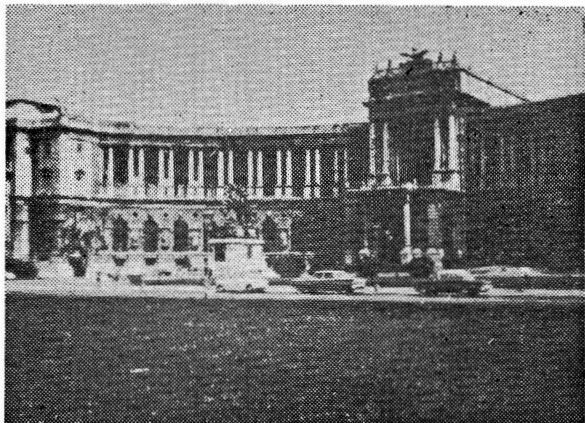
=====  
**特 別 寄 稿**  
=====

**ウイーンの影響**

工学部教授 養田 実

6月18日から1週間ウイーンの王宮ホツフブルグ(Hof

-burg) を会場にして国際鋳物会議が開かれた。世界各国から1,000人余りの参加者が集つて数会場に分れて行われた。日本からは15名、そのうち大学関係者は東大、京大、東工大、早大と富山大の小生との5人で他は会社関係の人



国際会議の行われたホフブルグ（旧王宮）

達であつた。日本の学会と同じようにバラバラで、日本人同志が特に一緒に集つて行動したということはないが1週間の間には一応どこかしらで誰れかと1回又は数回顔が合つて共にレストランに入つたりする機会があつた。

欧州は涼しいという話で合服を主にして過すつもりで行つたところが、今年は異状な暑さで合服どころか夏服さえ暑くて上衣をぬいで歩く始末だつた。そのためパンケツトの夜だけ無理して汗だくになつて黒の合服を着た以外は全く手を通さず、結局後でデュッセルドルフ(Dusseldorf)から日本へ送り返してしまつた。

そんなことで70日間の旅行は羽田を発つたりの夏服とテトロンシャツ2枚だけの着たきりスズメで、新しいシャツ、下着類のいくつかも結局全く手をつけずに世界の各地を持ち歩いて再び日本にも帰へるような結果にたつた。

私の姓をローマ字で書くとYŌDAということになるが戦後ずっとYOHDAを自分の好みで使い馴れているので特に事務の方に頼んでこれで進めて貰うことが出来て良いことをした。ヘボン式とか何式とか云つても結局ローマ字は英語でも独語でもないで欧米人には通用しない。発音に最も近い向うの人の読み易い綴りにすることが肝要だということを現地に行つて一層判つきりした。そうでなければ養田がヨダになつてしまつたり大矢がオヤになつたりする。少し長いTAKAHASHIとかSAKAKIBARAなどになると彼等は度々一度にすらすらと読むことはできない。

ウィーンの街は静かで落ちついたところである。ホフブルグの周辺は美しい公園になつているが、沢山並べられたベンチに老若男女が交々腰をおろして陽光を楽しんでいる。その附近には鳩が沢山遊んでいてスズメまでが人間の近くにやつてきてパンの屑を投げて貰つては嬉しそうに食べて遊んでいる。誠にのどかな風景である。(尤もこういう光景は他のヨーロッパ、アメリカの各地でよく見かけた

ことでもあるが)

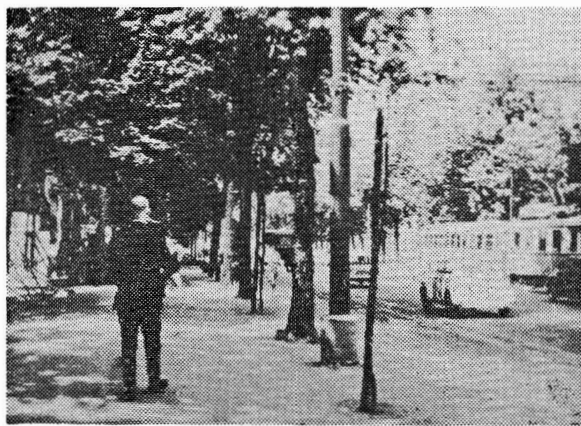
ウィーンの市内電車の赤色は全く美しくて印象的である。こういう赤色はそうどこにも見かけられない。例えばこういう赤色だといつて我々の周囲に沢山ある赤色をもつて来て示すことが殆ど出来ない位に美しい。これが、街路樹の緑と一緒になつてウィーンの街を一層美しくしているようだ。東京の電車のようにせわしく走らずに木製のシートの子供の赤い電車はゆつくりとそして狭い路地の中にもスルスルと滑るように走つてゆく。運転手も大抵爺さん婆さん達である。

こういうのどかなウィーンそしてオーストリー、スイスに決して劣らない程の美しい国であることが、それでいてLD法とか鋼の連続鋳造法とか世界の最先端をゆく工業の口火を切つたりするのであるから興味深い。——尤もスイスにもヨーロッパ第一と称せられる鋳物工場があつたりするのであるが——

ウィーンにいる日本人は60名程でそのうちの大部分は音楽を勉強に来ている人達で、他は原子力(国際原子力機関IAEAがウィーンにおかれている)の関係者がウィーン大学に他の専門で研究に来ている人達である。大使館員は7人程の世帯でやつている。

国際会議で世話した国立オペラの見物を途中で出てから1人でレストランで食事をしていた時偶然大学関係の日本人2人に会つて、その夜の日本人会に案内された。グリンツインというウィーン郊外の飲み屋街だが日本で想像する飲み屋街と違つてネオンもなければ看板もない。大きな並木のある郊外の高級住宅街を想わせるようなところである。この閑静な暗い酒場に夜の10時頃から1時過ぎまでホイリツゲと呼んでいる新酒ワインを飲みながら約30名の日本人と歓談することが出来た。

この中には大学関係者、原子力関係者もいたが大部分は音楽関係者であつて、沢山の美しいお嬢さん方と同席出来る日本人会はここウィーンなればこそであると鼻の下の長



ウィーン大通りの一部

そんな大使館員の自慢話を拝聴しながら一夜の光榮に浴したことであつたが、音楽の知識を持ち合せていないことが誠に猫に小判のウィーンとなつたかも知れない。

昭和 36 年 12 月 15 日

印刷所 昭和印刷株式会社